



鷺の宮卓話

ペットボトルの砂

太田敬雄

研究所事務室の書架に砂が半分ほど入ったペットボトルが置かれている。それは11年前に東日本大震災の直後に行った仙台の海辺近くの駐車場に積もっていた砂。

2011年3月11日の東日本大震災直後、「まなばる」の代表、太田琢雄（現理事長）が、被災した子ども達を支えたいと、ネットを駆使してランドセルや絵本・児童書などを集めた。

4月初め、高速道路は何とか通れるようになったとの情報を受けて、2トントラックにランドセルや本を積み、翌朝まだ真っ暗な中を鹿児島からの助っ人 Fukuzaki さんと私の二人で運転して仙台に向かった。聞けば、Fukuzaki さんはトラック運転未経験だったとか！

福島に入ると、高速道路は凸凹に波打った状態だった。路肩には延々と自衛隊のバスが連なっていて、ナンバープレートを見ると、日本中から救援にきていることが見て取れた。

仙台では30個のランドセルと、子どもたちが書いた30通の手紙を、宮城県歯科医師会に託し、次に「こどもとあゆむネットワーク」に絵本をはじめ群馬の方々から託されたノートや折り紙などを届けた。

まなばるでは支援物資を送る活動をさらに発展させ、ランドセルは200個以上、絵本・児童書は8000冊に及び、さらに子供向けに限定せず、あらゆる生活必需品を受け入れて送る活動に発

展。国道18号沿いの倉庫を借りて、大々的に物資を集めて支援活動に充てたが、直接現地に支援物資を届けたのはこの時のみだった。

さて、仙台に入り、約束の場所に運んで荷を下ろして帰ろうとすると、被災のひどかったところを見ていくようにと勧められた。

「いや、復興活動の邪魔になってはいけないから」と辞退したが「ゼヒ、見ておいて欲しい」と勧められて海岸の方向に車を走らせた。

道は問題なく走れたが、少し行くと道路の両側には被災した車や瓦礫が山積みされた光景が、延々と続いた。テレビで目にしてきた光景ではあったが、そのすさまじさはテレビの画像では到底想像できない迫力で迫ってきた。

さらに進むと、信号もまだ消えたままで、行き交う車もない。そんな中を海辺近くの空き地までトラックを走らせた。砂地だと思ったその場所は砂を被った駐車場だった。道路は走れるようにきれいにされていたのだが、もう周りには建物一つ残っていないところに有った駐車場は、当然手は付けられておらず、分厚く砂をかぶっていたのだ。気持ちの整理もつかないまま、その砂をペットボトルに入れて帰路についた。

11年経った今でも、このペットボトルを手にとると、砂の質感と共に、あの時に味わった言葉に尽くせない悲しみや無力感がひしひしとよみがえる。

これから先も、その痛みを、手に伝わる砂の重みと共に受け止め続けたい。そこから、明日に向かう活力を生みだされなくてはならない。



多文化交流オンライン2022 ～ぐんま×マラン×プサン共催～

文責：須川奏



2月19日（土）にZOOMにて「多文化交流オンライン2022～ぐんま×マラン×プサン共催～」が開催されました。

交流会には、4つの国から、学生だけではなく社会人の方も参加していただき様々な方々と交流することができました。

当日は、スタッフが考えた【地域紹介】や【ゲーム】などを行い、

【地域紹介】では、ぐんま・マラン・プサンの伝統的な行事や服装、スタッフのイチオシグルメやおすすめのスポットを紹介しました。

【ゲーム】では、「アキネーター」「ビンゴゲーム」「ひとりぼっちゲーム」などそれぞれのチームが考えたユニークなルールのもと、ブレイクアウトルームに分かれて参加者の方々とこのゲームの時間を楽しみました。

今回で三回目になるこの交流会では、スタッフ同士も地域を超えて企画を考えるという新しいかたちでの交流会になりました。そのため、スタッフ同士の絆も深くなり、一丸となって準備を進めることができました。

参加者の方々にも楽しんでいただき、私自身も準備を含めて交流会を存分に楽しむことができ、素敵な「多文化交流オンライン2022」を作り上げることができたと感じています。



マランの代表とプサンの代表の二人にも感想を聞いてみました！



今回の多文化は新しい形になったので、各地域ではなく、3カ国のスタッフはチームになって、色々な企画をやってきました。ものすごく良い経験でしたので、当日までも無事終了しました。私にとってはたくさん良い思い出ができたので、絶対に忘れられないイベントだと思います。

機会があれば、どこかでスタッフや参加者と直接会いたいです。

〈マラン代表：ニスビ〉

交流会のために尽力してくれたスタッフたち、ありがとうございます。スタッフとして1年、プサン代表として半年をしながら 毎度新しく多くの点を学んで各国スタッフたちからも学ぶ点をたくさん感じました。

新しい形式の交流会でプサンスタッフの代表を引き受けながら不足な点も多かったですが、各国スタッフのおかげで無事に終えることができたと思います。

皆一緒に作って行くことがどんなに重要で良い思い出になるかは毎年交流会をしながら感じています。

各国のスタッフたちにいつも感謝しています！

〈プサン代表：テヒ〉

参加者の感想

今回の交流会には初めて参加したので、最初はとても緊張しました。

しかし、色々なゲームをやって少しずつ仲良くなりました。

特に面白かったゲームは、「ひとりぼっちゲーム」です。

またチャンスがあれば次回の交流会にも参加したいと思います！

皆さんと出会えて本当にうれしかったです！！

〈インドネシア人参加者〉



←ビンゴゲームの様子です



今回の交流会でぐんま代表を務めさせていただきました、群馬県立女子大学2年 須川奏です。

スタッフのみんなと一丸となって交流会を楽しく準備することができ、参加者の方にも楽しんでもらえる交流会をつくることができたことと実感しています。

その交流会を開催するにあたり、支えてくださった方々、協力してくださった方々にもこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

オムニバス講座

2018年に発足したオムニバス講座は、まなぼる、安中市の学習の森、原市教会、群馬キリスト教会を会場に展開してきました。その後2020年秋からコロナ禍の中、オンラインでの開催を決断。以来、3回に渡ってZoomで開催してきました。当初はコロナ下の臨時的対応と考えていましたが、オムニバス講座の場合はオンラインで開催する事のメリットが大きく、コロナ後もオンラインで継続していきたいと考えています。

2022年度前期の講師は次の方々です。(水曜日は午後8時～になります。)

- 5月14日(土) 釜山外国語大学の日本語の先生 三國喜保子さん この日は午後3時～
- 5月18日(水) NPO かんますべ～代表 大和隆生さん
- 6月1日(水) 児童英語教育者 mpi 松香フォニックス名誉会長 松香洋子さん
- 6月15日(水) 特別支援学校美術教師 蒔苗正樹さん
- 6月29日(水) EQ 絵本講師 澤田恭子さん

4月にはチラシも出来上がり、募集方法なども明らかになりますので、関心のある方はお問い合わせください。

メールアドレス変更

これまで、太田敬雄のメールアドレスをIIMSのアドレスとしても使用してきましたが、これを分けて、IIMSのアドレスを取得しました。新アドレスはiims.since2000@gmail.comです。徐々にこちらに切り替えてまいりますので宜しくお願いします。

新しい看板が出来ました

この度理事の伊藤成さんの手になる新しい看板が出来ました。まだ設置されていませんが、近い内に安中市鷺宮の事務所に掲げられる予定です。



会員の櫻井なおみさんの手になる初代の看板に続き、二代目も手作りの看板！心を引き締めてこれからの活動を進める励みになります。

総会のご案内

2022年5月28日14時～15時

今年の総会は昨年に続きオンラインでの開催となります。正会員の皆さまはまずはメール・LINEにて出欠をご連絡下さい。(ご参加いただけない場合は後日委任状を頂きますのでご了承下さい。)

<議題>2021年度事業報告、2021年度会計報告、監査報告

2022年度事業計画、2022年度予算、役員人事 定款改定

※終了後にオンライン懇親会を予定しています。(16時頃までの予定)

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

【賛助会員、学生会員の皆様へ】総会の陪席や懇親会へのご参加も大歓迎です。

ご希望の方は5月20日までにご連絡下さい。

会費およびご寄付のお願い

皆様に支えられて二十二年の年月が流れました。特に、コロナ下の2年は活動のほぼ全てを皆様からの会費とご寄付に支えられての日々となりました。お力添えを心から御礼申し上げます。

2022年度も引き続きコロナの影響を受けながらの活動になります。IIMSが描き続けてまいりました、「違いを認め合い、受け入れ合う中で友となる」ことから目指す平和な地球社会創りが増々求められる時代となっています。新年度も皆様の変わり

お支えをお願いします。

【クレジットカードの手続き】



左記 QR コード、もしくは下記 URL からアクセスして頂き手続き・ご登録ください。
アクセス先のページから「会費の支払い」と「ご寄付」に分かれております。それぞれのページで手続きをお願い致します。

(<http://www8.wind.ne.jp/mthc/iims-cardannai>)



同封の振込用紙について

今回ニューズレターを郵送させていただき皆様には、振込用紙を同封させていただきます。これは請求書ではなく、一律に皆様にお送りしているもので、すでに新年度の会費をお振込み下さった方にもお送りしています。郵便振替口座ご利用の方はご活用ください。カード振込を選択される方は、上の【クレジットカードの手続き】をご参照ください。なお国際比較文化研究所のホームページからもカード振込手続きに入ることが出来ます。研究所のホームページは <http://www8.wind.ne.jp/mthc> です。

ニューズレターのお届け方法について

現在、ニューズレターは紙媒体でお送りしている方と、メールでお送りしている方が有ります。お届け方法の変更希望がございましたら iims.since2000@gmail.com にご連絡ください。

会費・寄付<敬称略・順不同>2021.12月1日～3月10日 (カードは12.1.～2.28)

賛助会費：大江士、伊藤義彦・順子、水木健一、櫻井なおみ (21,22)、新井瑞穂、佐俣由香、坪井教由・明子、星野富男、星野敏子、鈴木布美子、阿部洋一 (22)、岸好孝 (22)、太田知子、遠間徹也、前田浩、吉村耕治 (21,22)、伊藤優子、

一般寄付：李孟蓉、伊藤義彦・順子、佐俣由香、鈴木布美子、阿部洋一、木暮道子、根岸大輔、梶山拓弥

毎月寄付：樋本達之、福崎結子、田村珠里、根岸大輔、Rosdiana Febriyanti、藤本恵大、内野春香、片岡謙、ファン翠、

多文化オンライン寄付：片岡謙×2、カティリ・カズコ、横井宏行、

支援金：イエスの友会、

編集後記：◎このニューズレターが皆様のお手元に届くころには、私は80歳になっているでしょう。そろそろ終活と考えて断捨離など始めています。ところが新しい看板が出来て、それを見ていると、もう一度新しいエネルギーがわいてきます。

コロナ・ウクライナと悩ましい事が沢山ありますが、その中で私たちは己を見失うことなく、違いを認め合い、受け入れ合うつながりを育てる使命を再確認して、前進し続けたいものです。(敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所
事務所：379-0124 群馬県安中市鷲宮 3413-3
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393
研究所：<http://www8.wind.ne.jp/mthc>
メールアドレス：iims.since2000@gmail.com
まなぼる：<http://manapal.gunmablog.net/e80854.html>
メールアドレス：mail@manapal.jp
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所
口座番号 00510-1-61974